



# Executive Interview

エグゼクティブ  
インタビュー

## no.30

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

有限会社 学習社 代表取締役

## 井上 孝男 様

小田原に開設して30年、総合学習塾として県西地区に5つの教室を運営する他、音楽やスポーツなど、子どもたちとかわる幅広い活動をされている有限会社学習社の代表取締役 井上孝男氏にお話を伺いました。

### ■子どものために様々なイベントを企画

——いろいろな活動をされているようですね。

仕事の基盤は「学習教室エペルーム」という学習塾ですが、小田原市の体育協会加盟の「小田原市スポーツチャンバラ協会」という公認団体があり、そこで会長としても活動しています。「スポーツチャンバラ」は、もともと遊びとして存在した「チャンバラごっこ」に用具を設けルールを作ってスポーツ化したもの。運動神経はさほど関係なく小学生から大人の方まで楽しめる競技で、かれこれ10年近くやっています。

また、「おだわら子ども音楽プロジェクト」の代表も務めています。このプロジェクトでは、“0歳からの音楽会”を主催しています。小さな子どもが行けるコンサートってなかなかないんですよ。声を出したり、手をたたいて歌ったり、自由に出入りができるコンサートを小さな



0歳からの音楽会

子どもたちやそのご家族に提供しようと活動しています。

基盤である学習塾では、県西部の地域を中心に、ばらばらになっている団体や個人を一つにまとめた、「一般社団法人神奈川県学習塾連絡会」という塾団体の代表を務めています。この連絡会を通じて個々の学習塾が親や子どもからみて安心できる企業として情報の開示をしています。行政との接点を密にすることで、スポーツやイベントの活動がスムーズにできるようになりました。

——塾を開いたのはいつですか？

塾の創業は1985（昭和60）年です。創業時は前社長含め5人でした。前社長が亡くなったのちに私が2代目社長となりました。学生の頃から子どもとかわることが好きで青少年育成団体の活動などにも参加していました。もともと会社勤めをしていたのですが、学習塾の先生ならば子どもと一緒に楽しくやりながら勉強を教えることができる。自分が楽しくできることが結果的に仕事になるということでのこの道を選びました。

### ■地元ならではの、中小ならではの強い絆

——大手の塾などライバル企業も多いと思いますが。

大手は決められたプログラムの中できちっとやっていくわけですが、しかし、当社だけではなく中小の塾は、プログラムやカリキュラムをもちろんしっかり組み立てていますが、それ以外のことで



## つねに子どもとかかわり、 子どもの役に立ちたい

柔軟に対応ができます。何かあればすぐ飛んで行く、保護者をすぐ呼び出すというように素早く動けるといい。先生もほとんどが地元出身なので、子どもや保護者にとって、近い存在だと思います。

### ——柔軟な対応を取られているということは、負担も大きいのでは？

自分が塾に通っていた頃、先生がいろいろやってくれていたことを覚えているので、わりと自分たちでやるべき仕事に分かっています。やっぱり自分が普段から頑張っているからここで仕事できて、生徒がついてきてくれるという感覚もっています。

県内の中小の塾の絆を裏付けるエピソードがあります。ある塾の先生が心筋梗塞で倒れ、手術のため塾を続けることができない状態になってしまったことがありました。9月という受験生にとって大事な時期だったので、授業を止めるわけにはいかない。そこで我々の学習塾連絡会に連絡が入ってきました。私たちは、その日のうちにカリキュラムを組み交代で授業に入り、その先生が復帰するまでの3か月間をカバーしました。日頃は競争相手ですから、内部のことまで見られてしまうので、お互い気兼ねする部分も多少はありますが、困った時にはお互いに助け合おうと協力合っています。大手ではそういうことはできません。これは中小ならではの思いです。

### ■子どもの周りにいることが 自分の仕事

#### ——やりがいを感じる時はどんな時ですか？

子どもたちが目の前でワイワイ言っ

ているのがやりがいかな。子どもが目の前にいないと自分の仕事ではないんです。どんな時でも子どもが目に入ってくるし、行くところ行くところでも子どもにかかわっている。常に子どもに囲まれている。子どもがいるところにいるということですね。

### ——今後の目標を教えてください。

企業としては、拠点作りをしっかりとやっていきたいと思っています。

スポーツの分野では随分カバーしてきましたが、近年国語力の低下が気になっています。そこで、子どもたちにはもっと本を読んでもらいたいと思っています。教室内だけではなく本読みができる機会を作っていきたい。また、自然の中での共同生活でいろいろな体験を通じて勉強以外のものも学ばせたいとも思っています。

以前から教育特区で株式会社として学校



エペルーム講師集合

### 有限会社 学習社

〒250-0012  
神奈川県小田原市本町1-10-25

TEL: 0465-24-3822  
FAX: 0465-23-6250  
<http://www.eperoom.com>

#### 〈学習教室エペルーム〉

本部教室 (小田原市本町)・栢山教室 (小田原市曾比)・和田河原教室 (南足柄市和田河原)・国府津駅前教室 (小田原市国府津)・開成教室 (足柄上郡開成町)



模擬試験公開会場

を作りたいと思っていました。グローバル化ということも含めて、英語村というような自然の英語教育をやる。そこは英語だけを話して生活するというようなことができる場所。レクレーションみたいな形で英語と接する環境を作って、やっていきたいという思いがあります。元気なうちに実現したいと思っています。今は忙し過ぎて構想を練る余裕もない。だから、できるかどうか分かりませんが目標にしています。

### ——これからも地域の子どもの可能性を をどんどん伸ばして行ってください。

そうですね、自己満足かもしれないですが、とにかく子どもたちにかかわってあげて、少しでも役に立てればと思っています。一人で何かをやるのは好きじゃないんです。仲間を集めて、オール〇〇でやりたいですね。

### <インタビューを終えて>

とにかく子どもが大好き。子どもとの距離の近さと深い愛情を感じました。勉強を教えるだけでなく悪いことをしていたらコラッと叱ってくれる大人。一昔前はよくいた近所のちょっと怖いおじさんの役割を、塾の先生が担ってくれているのではないかと思います。